

こんな仕事をしました 令和3年度の主な事業(一般会計)

● 民生費

- ・高齢者、障害者生活支援
- ・高齢者福祉施設や障害者福祉施設の開設・整備等支援
- ・(仮称)西部いきいき交流センター整備事業の推進
- ・子ども発達支援センターの運営
- ・子育て支援・多世代交流センターの運営
- ・児童手当の給付
- ・保育施設の整備支援、運営費の給付
- ・開放学級の運営

● 土木費

- ・道路・街路の整備
- ・交通安全施設(歩道・カーブミラーなど)の整備
- ・都市下水路・排水路の整備
- ・泉町1丁目北地区市街地再開発事業の推進
- ・内原駅周辺地区整備事業の推進
- ・公園施設の整備・長寿命化
- ・子育て世帯まちなか住宅取得に対する補助
- ・市営住宅の長寿命化

● 総務費

- ・市役所・出張所の運営
- ・衆議院議員総選挙、茨城県知事選挙の執行
- ・水戸芸術館の運営
- ・市民センターの運営
- ・千波市民センター移転改築事業
- ・新市民会館整備事業の推進
- ・防災・減災対策
- ・町内会・自治会の加入促進



千波市民センター

● 教育費

- ・水戸スタイルの教育の推進(GIGAスクールの加速化など)
- ・小学校校舎増築事業の推進(笠原小学校、吉沢小学校)
- ・小学校施設の長寿命化(吉田小学校・酒門小学校・渡里小学校校舎、三の丸小学校屋内運動場)
- ・小学校給食室空調設備設置事業の推進
- ・図書館、体育施設の運営



タブレット端末を活用した授業(GIGAスクールの加速化)



こんなふうに使われているんだね!

● 衛生費

- ・妊産婦支援、不妊治療・不育症治療費の補助
- ・予防接種、がん検診の実施
- ・休日夜間緊急診療所の運営
- ・動物愛護事業の推進
- ・ごみの収集、資源物収集の充実
- ・下入野健康増進センター整備事業



動物愛護事業



下入野健康増進センター

● 消防費

- ・高規格救急自動車、消防ポンプ自動車の更新
- ・耐震性貯水槽の整備
- ・南消防署移転改築事業の推進

● 農林水産業費・商工費

- ・土地改良事業の推進
- ・森林公園の運営
- ・商工業の振興
- ・商店街活性化事業の支援
- ・中心市街地活性化の促進(空き店舗への出店支援など)
- ・企業誘致促進事業
- ・サテライトオフィス等開設促進事業
- ・水戸の梅まつりなどの開催

新型コロナウイルス感染症対策

- ・公共交通等運行事業継続支援金
交通事業者などを支援
- ・市民税非課税世帯等臨時特別給付金
市民税非課税世帯などに給付金を支給
- ・ひとり親世帯緊急生活支援金
児童扶養手当受給者などに対し給付金を支給
- ・子育て世帯臨時特別給付金
子育て世帯に対し給付金を支給
- ・障害児養育世帯緊急支援金
障害児福祉手当受給者などに対し給付金を支給
- ・感染症対応協力医療機関支援金
感染症患者の入院受入れなどに対応する医療機関を支援
- ・新型コロナウイルスワクチン接種事業
各医療機関での個別接種や集団・大規模接種を実施
- ・事業継続特別対策支援金
売上が50%以上減少した事業者を支援
- ・経済振興・子育て支援プレミアム商品券発行事業
1セット13,000円(販売価格10,000円)のプレミアム付き商品券を5万セット販売

令和3年度の 決算状況

市の財政は、皆さんが納める税金や国庫支出金、地方交付税などを財源として、市民生活の向上と住みよいまちづくりを目指して運営しています。
今回は、令和3年度の決算状況をお知らせします。
問合せ/財政課(☎232-9131)

一般会計

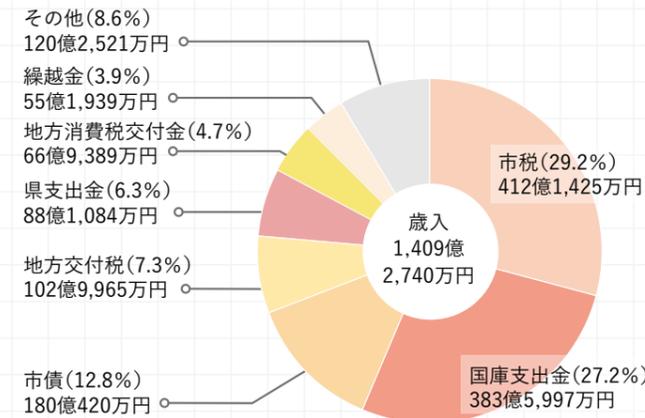
予算額	1,520億6,493万円
歳入額	1,409億2,740万円(前年度比10.2%減)
歳出額	1,341億2,362万円(前年度比11.4%減)
形式収支額	68億 378万円
繰越財源額	7億6,976万円
実質収支額	60億3,402万円

市の財政についての情報は、市ホームページでも見ることができますよ!



水戸市の財政リポーター
おさふちゃん

歳入



市税…市民税(個人・法人)や固定資産税などの税金

国庫支出金…特定の事業に対する国からの負担金や補助金など

市債…国や銀行などからの借入金

地方交付税…一定水準の行政サービスを提供できるように、国から交付される交付金

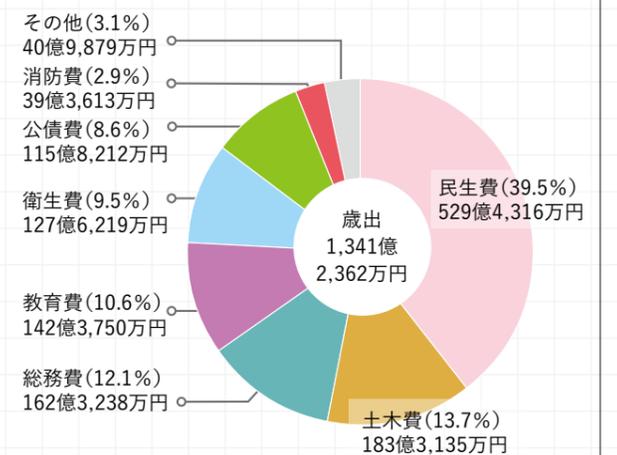
県支出金…特定の事業に対する県からの負担金や補助金など

地方消費税交付金…地方消費税を財源として、人口などに応じて配分される交付金

繰越金…前年度決算の剰余金

その他…諸収入、使用料及び手数料、分担金及び負担金、繰入金など

歳出



民生費…社会保障費や福祉施設の整備運営、介護保険等への繰出しなどの経費

土木費…道路、公園、市営住宅などの整備や維持管理経費

総務費…市の行政運営、市民センター、防災対策、選挙などの経費

教育費…小・中学校の整備運営、生涯学習、スポーツ振興などの経費

衛生費…健康診査や予防接種、ごみの収集・処理などの経費

公債費…公共施設の整備などの財源として借入れた市債の返済経費

消防費…消火や救急などの経費

その他…議会費、労働費、農林水産業費、商工費など

特別会計

介護保険会計

歳入額	250億2,564万円
歳出額	237億6,112万円
形式収支額	12億6,452万円
繰越財源額	0万円
実質収支額	12億6,452万円

特別会計は、特定の事業を行うに当たり、受益と負担の関係を明らかにするために、一般会計とは別に経理するものです。



一般会計とは別の会計があるんだね♪

国民健康保険会計

歳入額	234億5,862万円
歳出額	218億2,410万円
形式収支額	16億3,452万円
繰越財源額	0万円
実質収支額	16億3,452万円

後期高齢者医療会計

歳入額	36億2,037万円
歳出額	36億1,354万円
形式収支額	683万円
繰越財源額	0万円
実質収支額	683万円

公設地方卸売市場事業会計

歳入額	15億4,798万円
歳出額	8億9,841万円
形式収支額	6億4,957万円
繰越財源額	1,750万円
実質収支額	6億3,207万円

農業集落排水事業会計

歳入額	7億6,108万円
歳出額	7億2,671万円
形式収支額	3,437万円
繰越財源額	0万円
実質収支額	3,437万円

駐車場事業会計

歳入額	6億5,470万円
歳出額	6億3,707万円
形式収支額	1,763万円
繰越財源額	10万円
実質収支額	1,753万円

東前第二土地区画整理事業会計

歳入額	2億2,609万円
歳出額	1億3,161万円
形式収支額	9,448万円
繰越財源額	6,200万円
実質収支額	3,248万円

公共用地先行取得事業会計

歳入額	1億9,879万円
歳出額	1億9,879万円
形式収支額	0万円
繰越財源額	0万円
実質収支額	0万円

介護サービス事業会計

歳入額	5,984万円
歳出額	4,339万円
形式収支額	1,645万円
繰越財源額	0万円
実質収支額	1,645万円

母子父子寡婦福祉資金会計

歳入額	1,948万円
歳出額	107万円
形式収支額	1,841万円
繰越財源額	0万円
実質収支額	1,841万円

市債の現在高

令和3年度末の市債現在高は、総額で前年度末から39億798万円増加し、2,373億4,034万円となりました。

市債残高は、国の地方交付税の原資不足を補てんする、臨時財政対策債の発行が多額となっていることに加え、近年は、新市民会館整備などの大型事業の推進に伴い、一時的に増加しています。

市では、将来世代に過大な負担とならないよう、市債を適正に管理しています。

区分	令和3年度	令和2年度
一般会計	1,392億 101万円	1,322億9,849万円
特別会計	64億8,620万円	62億2,940万円
公営企業会計	916億5,313万円	949億 447万円
総額	2,373億4,034万円	2,334億3,236万円

公営企業会計

公営企業会計は、地方公営企業法の適用を受ける会計で、その年度の損益を明らかにするための収益的収支と、施設の整備拡充に充てる資本的収支に分かれています。

区分		決算額	
水道事業会計	収益的収支	収入	60億6,477万円
		支出	52億8,576万円
		純利益	7億7,901万円
	資本的収支	収入	18億 478万円
		支出	41億 709万円
		差引額	△23億 231万円
下水道事業会計	収益的収支	収入	85億5,037万円
		支出	83億 938万円
		純利益	2億4,099万円
	資本的収支	収入	55億2,575万円
		支出	96億1,679万円
		差引額	△40億9,104万円

※資本的収支の収入には、翌年度繰越支出の財源に充当する額は含まれません。資本的収支の収入が支出に対して不足する額は、損益勘定留保資金などで補てんしました。